

第78期中間報告書  
フクダ電子株式会社  
**2024.09**

2024年4月1日から2024年9月30日まで



おかげさまで85周年



<https://www.fukuda.co.jp/>

証券コード：6960



代表取締役会長  
福田 孝太郎

フクダ電子の歩みは、  
国産第一号の心電計開発から始まりました。  
様々な変化の時代に対応し続け、  
テクノロジーと人間力の融合に取り組みながら、  
医療・医学の進歩に寄与してまいりました。  
フクダ電子は85年を越える歴史を基盤に、  
医療機器専門メーカーとしてチャレンジを続け、  
社会からの信頼とともに、  
これからも人々の健康に貢献できる  
医療のイノベーションを創出してまいります。



代表取締役社長  
白井 大治郎

医療機器専門メーカーにとって、  
社会との信頼関係は大変重要です。  
それは人々の健康に役立つ成果を、  
一つ一つ実現して築き上げていくことだと考えます。  
フクダ電子は社会の変化や要請にお応えできる  
イノベーターでありチャレンジャーであり続けます。  
お客様の目線で、  
真のニーズを掘り起こすことで  
医療・医学の進歩に貢献しながら、  
「100年企業」を目指してまいります。

経営理念

社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する

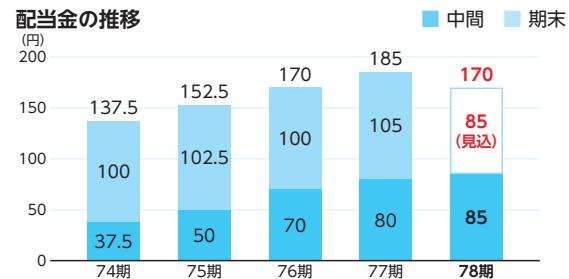
株主様への利益還元について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要  
施策として位置づけ、必要な内部留保を保ち  
つつ安定的かつ継続的に成果配分することを  
基本方針としております。

当期の中間配当は1株につき普通配当60円に  
特別配当25円を加え85円とさせていただきます。

1株当たりの  
中間配当金  
**85円**

普通配当：60円  
特別配当：25円



※当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。74期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金を算定しております。

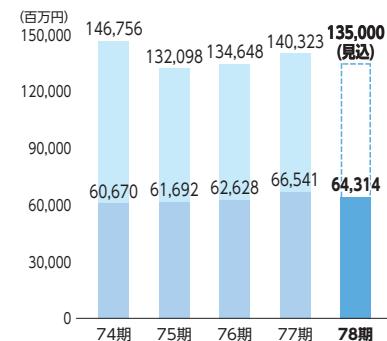
営業概況 (2024年4月1日~2024年9月30日)

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、先行きについては国際情勢等を受けた資源価格の高騰や、欧米の金融政策転換による影響が危惧される等、不透明な状況が続いています。

医療業界においては、次なる感染症に備えた体制の構築を継続しつつ、医療分野のデジタル化を進める医療DXの推進や、地域医療構想による医療機関の機能分化と連携を通じた効率的な医療提供体制の構築が求められています。

このような環境の中、当中間連結売上高は643億14百万円(前期比3.3%減)となりました。利益につきましては、営業利益は106億54百万円(前期比23.6%減)、経常利益は112億62百万円(前期比20.1%減)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は77億6百万円(前期比21.4%減)となりました。

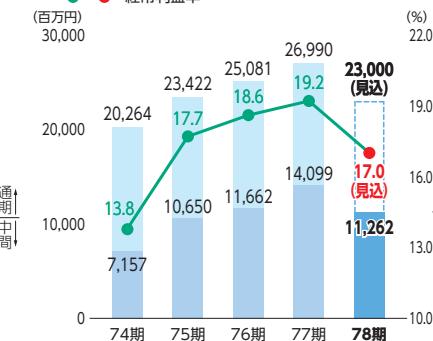
●売上高



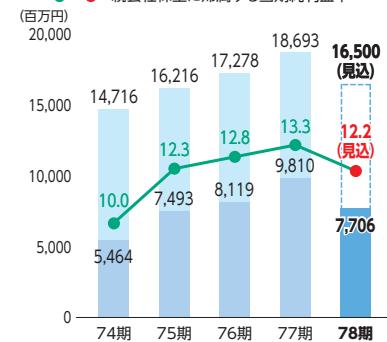
●営業利益/営業利益率



●経常利益/経常利益率



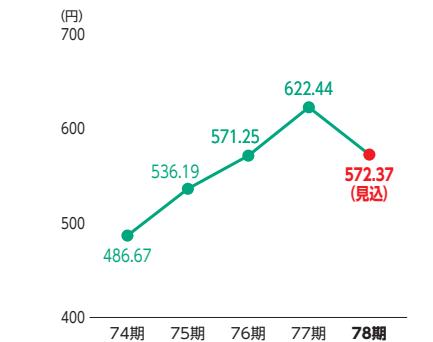
●親会社株主に帰属する中間(当期)純利益/親会社株主に帰属する当期純利益率



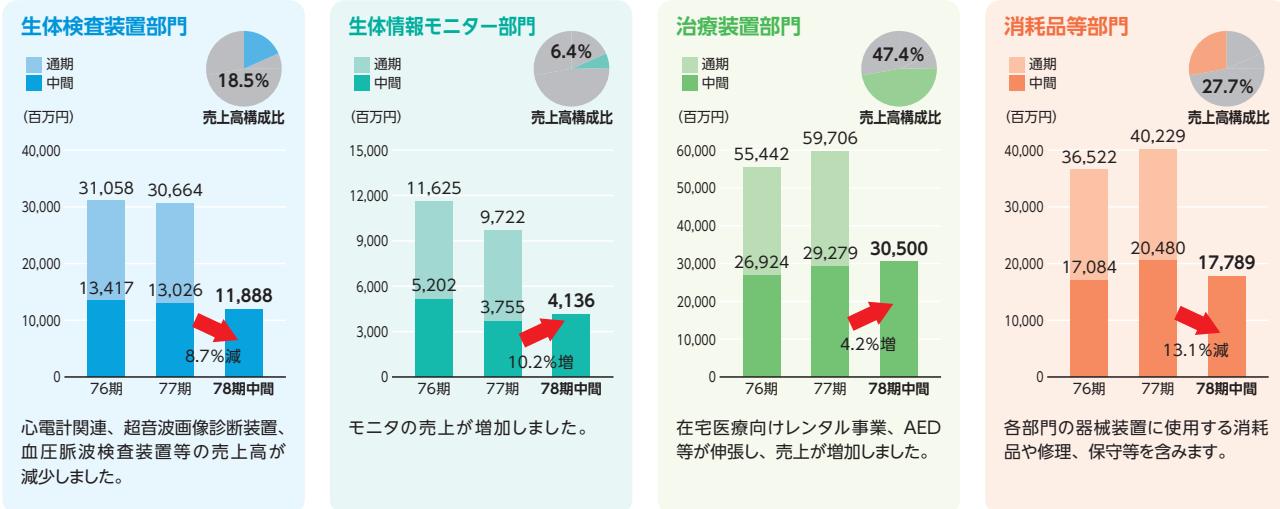
●自己資本/総資産/自己資本比率



●EPS (1株当たり当期純利益)



## 部門別概況 (2024年4月1日~2024年9月30日)



## フクダグループを取り巻く環境の変化

### 2024年度診療報酬改定

- 医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現
- 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和
- 地域医療介護総合確保基金等による地域医療構想の推進
- 地域包括ケアシステムの構築
- 救急・災害医療体制等の充実

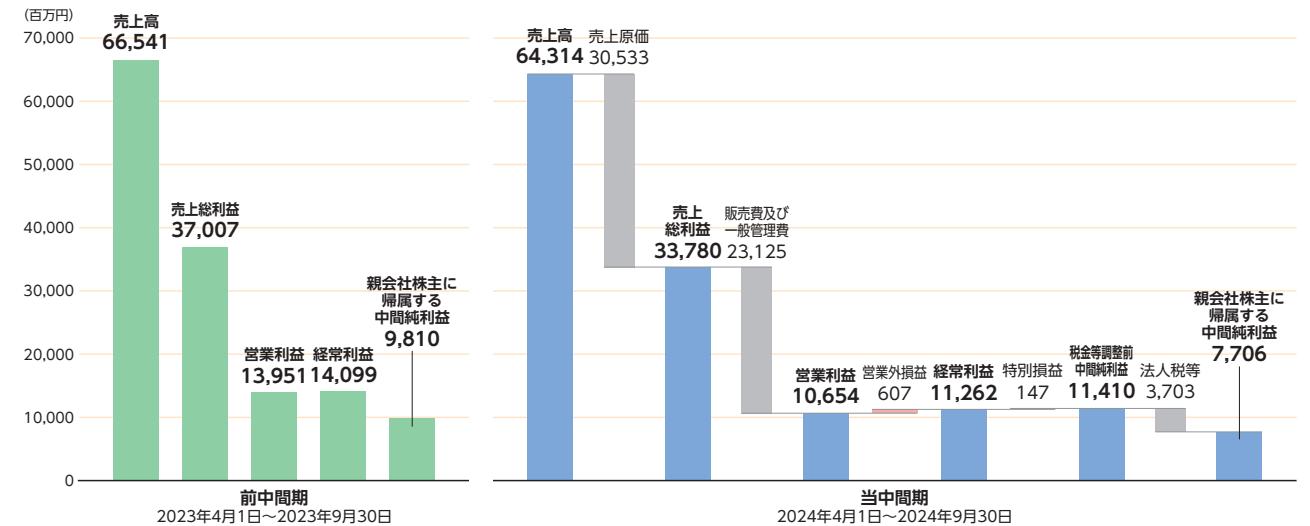
### 医療DX令和ビジョン2030

- デジタル化による効率化で良質な医療提供や医療費の適正化を図る
- 次なる感染症に備えた体制及び基盤の構築
- 全国医療情報プラットフォームの創設
- 電子カルテ情報の標準化 (全医療機関への普及)
- 診療報酬改定DX

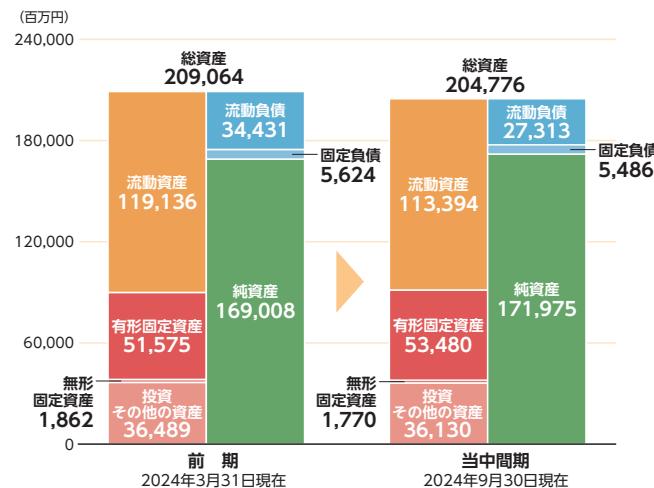
## 地域医療を支えるフクダグループの取り組み

- f'no、f'Rens等、各種システムを軸としたIT活用
- HOT、CPAP等、在宅事業の強化
- 医療従事者の業務負担軽減のための製品開発

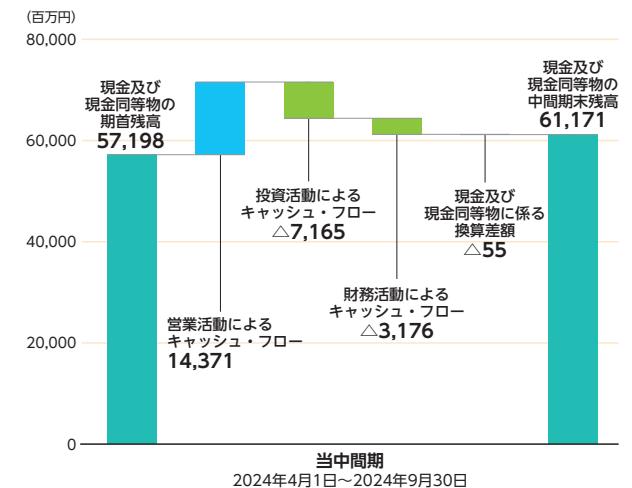
## 連結損益計算書の概要



## 連結貸借対照表の概要



## 連結キャッシュ・フローの概要



詳細な財務情報は当社ホームページ「IR情報」に掲載している決算短信をご利用ください。

<https://www.fukuda.co.jp/ir/>

# 心電図検査装置 CardiMax9 Ai、在宅医療診療支援システム f'Rens、心電図解析収録器 Cardilightが2024年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

フクダ電子の心電図検査装置『CardiMax9 Ai』、在宅医療診療支援システム『f'Rens』、心電図解析収録器『Cardilight』の3製品が、公益財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2024年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。フクダ電子はこれからも社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて医学の進歩に寄与するとともに、医療機器専門メーカーとして、安全・安心・快適を基軸として「お客様に信頼される企業」になることを目指してまいります。

## デザイン担当者の声

2024年度はバラエティに富んだ下記3点の製品がグッドデザイン賞を受賞いたしました。フクダ電子におけるデザインの役割は、かたち、画面、システム、ソリューションといった広範な領域にわたります。製品開発の上流から参画し、医療に従事される方々、患者様のことを第一に考えた製品デザインを行っております。

新製品



## 心電図検査装置 CardiMax9 Ai 受賞理由

本製品は、これまで検出が難しかった隠れ心房細動を拾い上げる、心電図解析技術である。心電計の先駆者であり、リーディングカンパニーとして、たゆまぬ改善のみならず、AIの活用など積極的に革新につとめる会社の姿勢も評価のポイントであった。

「グッドデザイン賞選評より抜粋」



## 在宅医療診療支援システム f'Rens 受賞理由

いまだ発展途上の在宅医療の現場では、複数メーカーによる多様な医療機器が存在し、いかにして一元的な管理を行うかという課題がある。本製品は、クラウドを活用して、遠隔でそれら医療機器の状態を一元的に閲覧・管理することを可能にしたシステムで、在宅医療の発展に寄与するデザインとして高く評価された。

「グッドデザイン賞選評より抜粋」



## 心電図解析収録器 Cardilight ESP-500 受賞理由

病院とは違い、在宅という場で診療を行うことは、携帯性と正確性/精密性とのトレードオフ構造を乗り越える必要がある。本製品は、徹底した現場へのヒアリングに基づき、携帯性と機能性/使いやすさを妥協することなく丁寧なデザインがなされており、心電計のトップメーカーとしての矜持が感じられた。

「グッドデザイン賞選評より抜粋」



# 国内初\*、AIで隠れ心房細動のリスクを 洞調律の心電図から推定する12誘導心電計



新製品

隠れた心房細動を照らし出す  
AI解析の光。

心電図検査装置  
**CardiMax9** **AI**  
FCP-9900Ai システム

**GOOD DESIGN  
AWARD 2024**

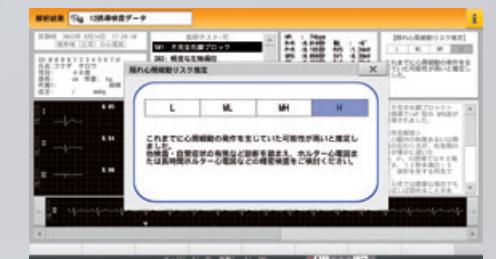
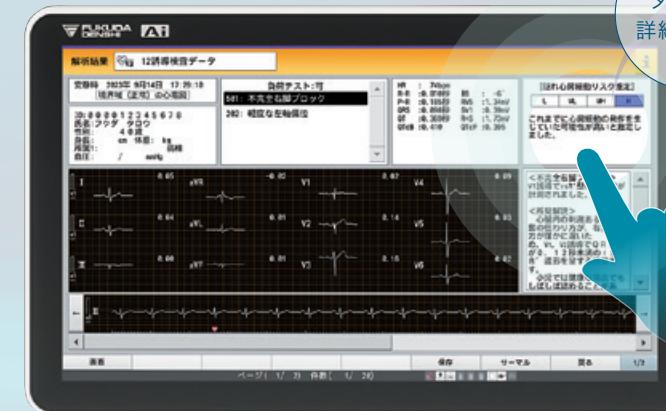
グッドデザイン賞とは、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

フクダ電子のME技術を結集した心電図検査装置、「CardiMax9」。そこにAIテクノロジーを用いることにより、隠れ心房細動(PAF)リスクを推定する機能を搭載いたしました。心電図検査を新たなステージへと進める一台です。

## 隠れ心房細動リスク推定機能を搭載

新たに搭載された「隠れ心房細動リスク推定機能」は洞調律時の心電図をAIで解析し、過去に発作性心房細動を発症していた可能性を4段階のリスクレベルでお知らせします。この機能により、ホルター心電図検査などの確定診断を行うための検査に効率的に繋げることで、発作性心房細動の早期発見・早期治療を目指します。

本機能による解析結果は、大規模多施設研究で収録された心電図データを基に、当社が構築したAIモデルにより発作性心房細動の発症可能性を推定したもので、厚生労働省の承認を受けた「カーディマックスFCP-9900Aiシステム(承認番号:30600BZX00127000)」に搭載されています。この解析結果は同疾患発症の確実性を保証するものではなく、医師が行う診断の補助を目的としたものです。



## 解析結果画面例

※隠れ心房細動リスク推定機能は、医師により心電図検査が必要と判断された40歳以上の患者が対象です。

フクダグループ

地域密着型の全国ネットワークで、よりよい製品とサービスの提供に努めております。

<p><b>■フクダ電子販売</b></p> <p>本社 23社 営業所 52 出張所 4</p> <p><b>■フクダライフテック</b></p> <p>本社 15社 営業所 83 出張所 23</p>	<p><b>■フクダコーリン</b></p> <p>本社 1社 支店 21 出張所 2</p>
--	---

全国 **224** 拠点

北海道・東北地区

- フクダ電子北海道販売株式会社
- フクダ電子北東北販売株式会社
- フクダ電子南東北販売株式会社
- フクダライフテック北海道株式会社
- フクダライフテック北東北株式会社
- フクダライフテック南東北株式会社

関東地区

- フクダ電子北関東販売株式会社
- フクダ電子西関東販売株式会社
- フクダ電子南関東販売株式会社
- フクダ電子東京販売株式会社
- フクダ電子東京中央販売株式会社
- フクダ電子東京西販売株式会社
- フクダ電子神奈川販売株式会社
- フクダライフテック関東株式会社
- フクダライフテック常葉株式会社
- フクダライフテック東京株式会社
- フクダライフテック横浜株式会社

北陸・中部・東海地区

- フクダ電子新潟販売株式会社
- フクダ電子北陸販売株式会社
- フクダ電子長野販売株式会社
- フクダ電子中部販売株式会社
- フクダ電子三岐販売株式会社
- フクダライフテック北信越株式会社
- フクダライフテック中部株式会社

中国・四国地区

- フクダ電子岡山販売株式会社
- フクダ電子広島販売株式会社
- フクダ電子四国販売株式会社
- フクダライフテック中国株式会社
- フクダライフテック四国株式会社

九州・沖縄地区

- フクダ電子西部北販売株式会社
- フクダ電子西部南販売株式会社
- フクダライフテック九州株式会社

近畿地区

- フクダ電子京滋販売株式会社
- フクダ電子近畿販売株式会社
- フクダ電子兵庫販売株式会社
- フクダライフテック京滋株式会社
- フクダライフテック関西株式会社
- フクダライフテック兵庫株式会社

その他グループ

- フクダライフテック株式会社
- フクダメディカルソリューション株式会社
- アトミック産業株式会社
- フクダコーリン株式会社
- フクダ電子ファインテック仙台株式会社
- フクダ電子技術サービス株式会社
- FUKUDA DENSHI USA, Inc.
- 北京福田電子医療機器有限公司
- FUKUDA DENSHI UK LTD

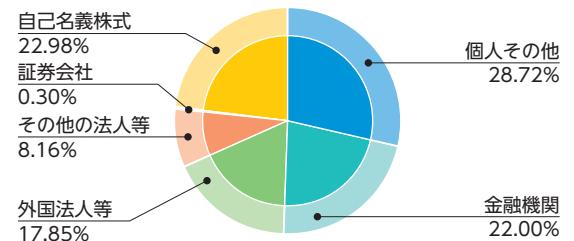
会社の概況

商号 フクダ電子株式会社  
 設立 1948年(昭和23年)7月6日  
 資本金 46億2,160万円  
 事業内容 医用電子機器の開発・製造・販売及び輸出入  
 本店所在地 〒113-8483 東京都文京区本郷三丁目39番4号  
 主な取引銀行 株式会社きらぼし銀行  
 株式会社三菱UFJ銀行  
 株式会社みずほ銀行  
 株式会社北陸銀行  
 株式会社七十七銀行  
 株式会社商工組合中央金庫  
 みずほ信託銀行株式会社

株式の状況

発行可能株式総数…………… 156,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 37,747,300株  
 株主数…………… 3,489名

所有者別分布状況 (%は持株比率)



取締役及び監査役

代表取締役会長	福田 孝太郎
代表取締役社長	白井 大治郎
常務取締役	小川 治男
常務取締役	玄地 一男
常務取締役	久野 直樹
取締役	福田 修一
社外取締役	杉山 昌明
社外取締役	佐藤 幸雄
社外取締役	古屋 一樹
社外取締役	伏黒 久高
常勤監査役	太田垣 吉孝
社外監査役	後藤 啓二
社外監査役	廣江 昇

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
福田 孝太郎	5,640	19.40
日本生命保険相互会社	1,505	5.18
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 きらぼし銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,390	4.78
ピービーエイチフォーフィデリティロープライズストックファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	1,388	4.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,355	4.66
株式会社みずほ銀行	1,042	3.59
株式会社北陸銀行	1,000	3.44
センチュリー産業株式会社	1,000	3.44
福田 百合子	734	2.53
フクダ電子従業員持株会	608	2.09

(注) 1 当社は自己株式を8,674千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 (注) 2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ◆株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか取締役会の決議で定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付/ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
公告方法	当社ホームページに掲載する。(電子公告) < <a href="https://www.fukuda.co.jp">https://www.fukuda.co.jp</a> >
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場)

## ◆株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

電話お問い合わせ先 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324

## ◆株式事務に関するご案内

### ●証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

### ●特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
各種お問い合わせ 及び郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きを行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続きはみずほ信託銀行にお問い合わせください。

なお、未払配当金のお支払いは、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
-----------------	---

**フクダ電子株式会社**

東京都文京区本郷3-39-4 TEL.(03)3815-2121代

医療機器のフクダ電子 | 検索

UD FONT

